

2026年4月22日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 IR室 (TEL. 03-5472-1125)

**EB ウイルス関連胃がんを対象とした前臨床試験において
ブリンシドホビルが有効性を示唆
ASCO Annual Meeting 2026 でポスター発表採択**

シンバイオ製薬株式会社（以下、シンバイオ製薬）は、当社の抗ウイルス剤のブリンシドホビル（brincidofovir, BCV）が EB ウイルス（EBV）関連胃がん（EBVaGC）に対して示した前臨床データが、米国臨床腫瘍学会（ASCO）2026 年年次総会にポスター発表として採択されたことをお知らせします。発表は、当社トランスレーショナルリサーチ部長神谷哲が行います。（アブストラクト番号：4028）

本研究は EBVaGC の治療戦略上、抗ウイルス剤である BCV の開発を進めることにより新たな治療の選択肢となる可能性を示すものです。

採択演題の概要

- **演題タイトル**：Preclinical efficacy of the anti-EBV agent brincidofovir (BCV) in EBV-associated gastric carcinoma (EBVaGC)
(和訳：EBV 関連胃がんに対するブリンシドホビルの前臨床試験における有効性)
- **発表者**：神谷 哲
- **アブストラクト番号**：4028
- **日時**：2026 年 5 月 29 日～6 月 2 日
- **場所**：米国イリノイ州シカゴ

「本研究は治療選択肢が限られるがん治療領域に対して、BCV の新たな可能性を示すものです。」（発表者 神谷哲）

以上

注記

1. EBV 関連胃癌 (EBVaGC) について

胃癌は世界で年間約 100 万人が発症する主要ながんの一つで、そのうち約 10%が EBV 感染に関連しているとされており、世界で年間約 9 万人、日本国内で年間約 1 万 3 千人が発症すると推定されています。EBVaGC はウイルスが腫瘍細胞内で持続感染することに伴い発生する胃癌のサブタイプで、EBV 由来の遺伝子発現や宿主（患者）の免疫応答の影響を強く受けます。EBVaGC は単なる臨床病変の一つではなく、EBV と宿主が関与する独自の病態を持つ胃癌のサブタイプであり、その分子メカニズムや免疫学的特性を理解することが、効果的な治療方法の開発につながると期待されています。現在、EBVaGC に特異的な抗がん療法は未だ確立されていません。

2. 米国臨床腫瘍学会 (ASCO) について

ASCO は 1964 年に設立され、世界 150 カ国以上から 5 万人以上の会員を擁する、がん治療と研究の分野で最も権威ある国際学会です。年次総会 (Annual Meeting) では、最新のがん治療研究の成果が発表され、世界中の臨床腫瘍医、研究者、医療従事者が最新知見を共有します。